

# あがつま



「兄弟たち、神の憐れみによってあなたがたに勧めます。自分の体を神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして献げなさい。これこそ、あなたがたのなすべき礼拝です。」

(ローマの信徒への手紙 12章1節)

## ♪ 讃美歌を歌おう② 『丘のうへの教会へ』

讃美歌第二編(189番)

この讃美歌の原曲は、1857年にウイリアム・ピッツ(1830-1918) という医学生によって作詞作曲された、

『Church in the Wildwood』

という讃美歌です。

旅行中だったピッツは、アイオワ州北東部の寒村ブラッドフォードに立ち寄りしました。この村の会衆派教会には会堂がなく、店や廃校舎を借りて集会を続けていました。

ピッツは散策中に美しい谷川を望んで、「あの谷間に小さな茶色の教会を建てたら」と空想し、旅から帰ってからその時思い描いた『小さな茶色の教会』を歌にしたのです。それから約2年後、ブラッドフォードの教会に着任した牧師が、たまたまこの歌の話を聞き、この歌を実現させようと教会員に呼びかけたのです。

ピッツがブラッドフォードを再び訪れたとき、彼は自分が想像していた場所に、想像していた通りの『小さな茶色の教会』が建てられているのを目にしたといいます。

1888年には、いったん教会は閉鎖されますが、建物は保存されました。その後もこの歌は愛され続け、1914年にはこの教会での礼拝が再開。歌の人氣が高まるにつれ、この教会も有名な観光スポットとなっていきました。今でも毎年何千人もの訪問者を魅了し、この小さな茶色の教会で、多くの結婚式が挙げられているといいます。

この歌は讃美歌第二編に収録されていますが、日本語の歌詞は翻訳ではなく、阪田寛夫(1925-2005)によって新しく作詞されたものとなっています。

